



令和6年10月30日
田島わくわく保育園
担任 飛田野・藤田

木々の葉の色が変わり始め、秋の訪れも目に見えて分かるようになってきました。

晴れた日には園庭に行き、虫探しを楽しんでいるぱんだ組！お家から虫かごを持ってきていいことを伝えると次の日には早速持ってきて「今日は園庭行けるかな？」「虫探したい！」と目を輝かせています。最初は虫を触ることが苦手だった友達も少しずつ、触ってみようとしたり捕まえようとしたりする姿が見られるようになってきました。捕まえた時には「先生見て！トンボ捕まえたよ！」「コオロギ捕まえた！」等たくさんの声が聞かれました。捕まえた虫はお部屋に持ち帰り、みんなで観察したり図鑑を広げて「これってなんの虫だろう？」「何食べるんだろう」と調べたりしていました。みんな虫に興味津々です！これからも子ども達の発見や興味を持ったことに寄り添い一緒に楽しんでいきたいと思えます。



友達とのやりとりで

運動会を終えて、小さい友達に優しくしたい気持ちや、きりん組さんへの憧れの気持ちが大きくなってきました。異年齢との関りでは、どういう言い方をしたら小さい友達に伝わるか考え、一緒に遊ぶ姿が見られてきました。しかし、ぱんだ組の部屋では、友達同士のやりとりで嫌な気持ちになった時に強い言い方になってしまったり、押してしまったりする時もあります。しかし、“あっ”と自分で気が付きすぐに「ごめんね」と謝る姿が多く見られてきました。一つの小さな成長に嬉しく思います。「ちょっと間違えちゃったなと思ってすぐにごめんね言えたのすごいことだよ」と伝えつつ、子ども達と一緒に強い言い方になる前に優しい言い方を考えたり、押してしまう前に少し我慢して先生に伝えたりする練習をしています。これからも子ども達の成長を見守っていききたいと思います。



作品展に向けて...

お月見のお団子をぱんだ組が作った際、保育者が十五夜や満月の話をすると、そこから月に興味が出てきて「昨日のお月さまの形、丸かった！」「お月さま見えたよ！」等教えてくれました。ぱんだ組のお部屋に宇宙についての図鑑を揃えると子ども達は興味津々で見っていました！「(地球を指差して)これって何？」「太陽って大きいんだね！」「ロケットってカッコいい！！」等、月以外にも気になることがたくさんありました！作品展では、お家から持って来て頂いた廃材を使って自分だけの特別なロケットを作ります。廃材、たくさん持って来て頂きありがとうございました。子ども達の“こうしたらカッコいい”“ここに〇〇を貼りたい”等の表現の仕方やアイデアに驚かされています！楽しみにしててください。

